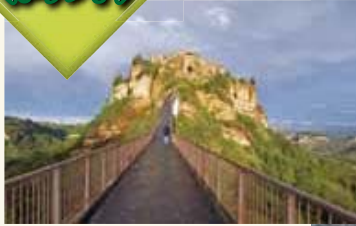




素材研究 (海外)

チヴィタ・ディ・バニョレージョ



集落の城門へと続く一本橋は長さ300mほどにも及びます



長い歴史を感じさせるチヴィタ・ディ・バニョレージョの町並み



オルヴィエートも切り立った崖の上に佇む中世の町です



特に正面装飾の美しさで知られるオルヴィエートの大聖堂



エトルリア時代の中心地で多くのローマ教皇が住んでいたヴィテルボ

滅びゆく町と形容される絶景の地 ツアー造成の重点観光素材として注目

イタリア政府観光局(ENIT)は12月20日、東京で「イタリアの9つの重点観光素材と最新情報」をテーマに、B2Bセミナー2017を開催しました。セミナーでは、自然・保護地域・風景や小さな村、ガストロノミーなどとともに、JATAによる「ヨーロッパの美しい村30選」に名前を連ねているチヴィタ・ディ・バニョレージョも紹介され、ツアー造成の参考となる観光素材として注目を集めています。

凝灰岩の丘の上に立つ「天空の村」

2012年に公開された映画「ホテル・ヒカリ」で、主演の綾瀬はるかが登場する場面ロケ地となるなど、日本での関心も高まってきているチヴィタ・ディ・バニョレージョ。

ラツィオ州の州都でもあるローマから北へ100キロほどに位置する凝灰岩の丘の上にある「天空の村」です。ローマがまだ都市国家のつだつた紀元前8世紀から3世紀にかけて、イタリアの中心部で高度な文明が築かれた連邦都市国家体制のエトルリア時代まで遡る集落は、風雨による浸食などで周囲の地盤崩壊が徐々に進んできています。バニョレージョ出身の作家であるボナヴェントゥーラ・ナッキにより「滅びゆく町」と形容された絶景の地は、かつては浮島のように

したが、現在は、バニョレージョとの間に一本橋がかかり、橋の入口で入場料(平日3ユーロ、土日祝日5ユーロ)を支払い、橋を渡って訪れることもできます。

住民数十人の村にホテルやレストランも

城門から村に入ると、住民は数十人という小さな集落ながら、ホテルやレストラン、かつての生活の様子などが分かる博物館などもあり、中世の雰囲気の色濃く漂う中で、散策を楽しめます。

「イタリアの最も美しい村」にも加盟するチヴィタ・ディ・バニョレージョは、内外から旅行者を集める人気観光地となってきたおり、多くのツアーでローマとフィレンツェの間を移動する途中に立ち寄るコースとして組み込まれています。

チヴィタ・ディ・バニョレージョから南へ10キロほどのオルヴィエート、あるいは、ローマからでも日帰り観光は可能ですが、鉄道の最寄り駅であるオルヴィエートからの路線バスは本数が少なく、隣町のバニョレージョにあるバスの停留所から二本橋の入口までも1キロ以上あるため、オルヴィエートからバニョレージョに宿泊してチヴィタ・ディ・バニョレージョ観光の拠点としたほうがいいです。

オルヴィエートも切り立った崖の上に佇む中世の町であり、見る者を圧倒する美しいドゥオーモで有名な観光地で、白ワインや黒トリュフ、木工芸も盛んなことから、日本人旅行者からも人気を集めています。